

狭山市教育委員会
教育長 松本 晴夫 様

狭山市立中央中学校
校長・関田 重雄

平成27年度 狭山市立中央中学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)わかる授業の創造・体力の向上 (2)豊かな心育成 (3)美しい学校づくり
(4)地域・保護者との信頼関係の強化 (5)小・中連携の強化

2 本年度の経営方針

協働と信頼を通し、日々の努力を積み重ね、生徒の思いや願いを実現する力の育成を図る。

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(100%) B:概ねできている(90%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	教職員、保護者とも学校評価において100%近い評価を得ており、今後とも周知のための工夫改善を図る。
	2	保護者への浸透が図られたか。	A	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	A	校務分掌の見直しを図り、責任の所在を明確にし、合理的な組織運営を図ることが出来たがさらに適材適所の配置を図る。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	A	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	A	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編制されたか。	A	計画的に実施でき成果をあげることができた。時間割を極力抑えた中で授業時間の確保ができた。HP等の活用で開かれた学校づくりが図れた。校内研修の充実で学校への貢献度を高める。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
4 学年 学級 経営	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	A	学年・学級経営案を学期2回、全職員で確認し、経営の改善を図る。研修の一環として毎週に資料「Teacher's Room」を配布し、継続的に指導をする。管理職も集会や学級活動に参加し、見取りと指導を行う。校内巡視の結果は速やかに教職員に伝え、即時改善を指導する。
	12	時間割により十分な成果を得ることができたか	A	
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	A	
	14	意図的、計画的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	15	児童生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	A	
5 学習 指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	生徒自身が落ち着いた読書活動や学習活動が展開されるよう、係活動などを通して自浄的な活動を促す。学力テスト結果など全職員で受け止め、学校全体で改善策を講じる。視聴覚機器をそろえ、活用が容易になる環境を整える。
	19	児童生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	A	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	21	児童生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	A	
7 道徳 教育	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な活用がなされたか。	A	研修を充実し学年単位で教材を検討・作成を図る。年間計画の見直しを図る。
	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされたか。	A	
8 特別 活動	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	A	生徒会組織の改善を行い、生徒が自治的活動ができるよう事前の段取りを丁寧に行う。キャリア教育の充実を図る。生徒会を中心に地域で活動する機会を設定する。
	27	全体計画を理解し、生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	A	
	29	児童生徒会活動などの特性が理解され、児童生徒の自己実現がなされたか。	A	
	30	奉仕活動の活発化が図られたか。	B	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
9 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	行事の目的と成果について改めて検討し見直しを図る。評価をしっかりとできるように改善を図る。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互いに協力がなされたか。	A	
10 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	挨拶や清掃、時間を守るなどの基本的な生活習慣の指導を生徒の委員会活動を活用し徹底する。週1回の生徒指導部会で情報共有を図るとともに、相談員や養護教諭とも連携をとる。いじめ・不登校への対応については管理職が積極的に問題解決に向けて介入し、速やかな解決を図る。清掃活動は「生徒自ら黙々と」を目標に無言清掃に取り組む。
	35	職員に共通理解があったか。	A	
	36	カウンセリングマインドを心がけて指導がなされたか。	A	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的な生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	A	
	39	児童生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	A	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	A	
	41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	A	
42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A		
11 進路 指導	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	A	キャリア教育の年間計画の見直しを図る。校内研修でキャリア教育の重要性について指導し、新たな取組を打ち出していく。
	44	児童生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	A	
	45	家庭との連携が行われたか。	A	
12 保健 ・ 安全 指導	46	保健観察が丁寧に行われたか。	A	保健部会を中心に、命・食育・性に関する指導を計画的に全学年で体系的に実施し、成果についてしっかりと評価を行う。食の大切さを学ぶ授業を栄養教諭を活用して実施する。自転車通学者に対するヘルメットの着用100%を継続して指導し、自転車安全教室を開催する。
	47	児童生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	A	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされたか。	A	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	A	
52	給食指導が適切になされたか。	A		
13 職員 会議	53	開始時刻が守られたか。	A	職員会議と学年会、職朝、日報のそれぞれの機能を明確にして、会議は60分を以内を原則とし効率化と合理化を図る。提案時期と原案作成者について年度初めに計画的に会議が運営できるようにする。
	54	職員が問題意識を持って臨めたか。	A	
	55	議案の内容や提案の仕方が適切であったか。	A	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	A	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	
	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	A	
14 教職 員の 服 務	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもとサービスの厳正に努めたか。	A	市民に信頼される教職員として職務を遂行することができるように、職員室だより等をととして、日頃より倫理確立と教職員の服務について研修を行う。保護者や来校者に対する接遇についてマニュアルを作成し研修をする。
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	A	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	A	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	
	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	A	
15 校内 研 修	65	研究主題が児童生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	A	一般研修、課題研修ともに研修の目的と効果を明らかにし計画通り実施する。教職員が自主的に研修に取り組めるものに改善を図る。
	66	研究組織や進め方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	A	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	A	
	68	研究の結果、児童生徒の変容が見られ、子供のためになったか。	A	
	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	A	
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	A	
16 施設 設 備	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	施設・設備の管理は適正になされ、不良箇所も速やかに改修する。掲示物は古くなることのないよう担当を明確にし計画的に貼りかえる。委員会等を再編成して生徒に積極的に環境整備に当たらせる。
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	A	
	73	使用後は施錠等が確実になされ、しっかり後始末ができたか。	A	
	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	A	
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	A	
17 学校 事 務	76	出勤簿は毎朝、押印されたか。	A	管理職と事務職員が協力して表簿の確認を毎月実施する。会計簿の管理をまとめ、表簿を統一する。監査マニュアルを作成しそれにしたがって監査を行う。
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	A	
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	A	
	80	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
18 PTA 家 庭 地 域	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	PTA活動や地域の活動について目的と活動内容、担当を明確にして責任をもって取り組ませる。一部の教職員に偏らないように全教職員で分担するよう配慮する。
	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	A	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	A	
19 部 活 動	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。	A	外部コーチと連携をとり、勝利主義に偏らないように活動の目的を明確に取り組ませる。
20 総 合	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	A	年間計画をもとに、学年ごとに企画・実施する。企画委員会で学年間の連絡・調整を図る。
	87	計画に沿って実施できたか。	A	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	A	